

新任医師のご紹介

2021年4月から新たに子宮頸がん検診担当の医師が着任しました



上原 知子 医師

初めまして。上原知子と申します。専門は産婦人科ですが、当センターでは子宮頸がん検診と内科の診察を担当します。

❖ 子宮頸がんの現状について聞かせてください。

県内外で産婦人科を専門に診察してきた中で、20～30代の若い方でも子宮頸がんになる方が結構いらっしゃるというのが実感です。その一方で日本は子宮頸がん検診を受ける方が4割と海外に比べて少ないという事実もあり、検診の重要性を感じています。

❖ 検診に際して心がけていることはありますか？

子宮頸がん検診に関しては「恥ずかしい」「痛そう」というイメージをお持ちの方も多いかと思います。内診の際はどのような検査をするかきちんとお話し、痛くならないように意識するなど、安心して受診していただけるよう心がけています。

❖ 当センターで取り組みたいことは？

当センターは病気を防ぐことや早期発見が大きな役割です。受診者の方が病気になるために生活習慣の見直しや意識づけ、動機づけを一緒にやっていけたらと考えています。また、女性同士で話しやすいこともあると思うので、受診者の方が気になることなども丁寧に聞き取っていけたらと思います。



❖ 読者へのメッセージをお願いします。

私自身2人の子どもの育児中ですが、子育てや仕事などで忙しいと自分の体調については後回しになりがちだと実感しています。しかし、ご自身が体調を崩されては元も子もありません。1年に一度は健康診断や子宮頸がん検診を受けてご自分に向き合う時間を作っていただきたいです。「症状がないから大丈夫」ではなく、早期発見・早期治療につながるよう無症状でもぜひ検診を受けてください。